

- 立科小学校/午前9時～午前11時30分  
電話 56-3131 (呼)・有線2190 (呼)
- 立科中学校/午後2時～午後5時  
電話 56-1076 (呼)・有線2251 (呼)
- 立科町児童館/  
午前11時40分～午後1時30分  
電話 56-0303 (直通)  
有線 8889 (直通)

※予約をされる方は児童館または小・中学校の  
教頭先生へご連絡をお願いします。

# 当世教育子育て百迷惑

～ 迎春、五無齋先生の「当世百迷惑」に倣って～

立科町教育相談員 岩上起美男

平成26年3月、立科町教育委員会が、五無齋・保科百助先生の卓越した見識と先見性、ユーモア精神を知るうえで極めて貴重な資料である、五無齋先生の創刊・編集による週刊誌「信濃公論」の復刻版を発行しました。

いかにも明治の時代を感じさせる、この重厚な復刻版の第23号(明治42年4月7日付)に、「当世百迷惑 五無齋」という記事が載っています。「左程にも無き人譬へば知事などに面会謝絶を喰べさせられた時」「滑稽の積りにて自分の急所をつかれた時」など、五無齋先生一流の痛快な「迷惑」が列挙されているのです。ところが、「百迷惑」と題しておきながら、50番目の「迷惑」の後に、「以上五拾迄は五無齋の筆なり。以下は読者各位のうちにて願ひたし。」と書き添えてありました。

そこで、平成27年度「広報たてしな3月号」で、「当世教育子育て五十迷惑」を申し上げました。この度、「平成」最後の新春を賀して、新たな「五十迷惑」を加え、「当世教育子育て百迷惑」と致しましたが、この「百迷惑」はすべて老生自身の苦い失敗体験に基づいた自戒ですので、町民の皆様におかれましては、人の振りを見て我が振りを直す「寛き心」で、他山の石としていただければ、幸いに存じます。

1. 学校は社会の縮図であり、子どもの問題のほとんどが大人に起因している、という認識の乏しい大人
2. 世人はことごとく教育者で、学校は教育の全体ではない、という五無齋先生の教えに耳を傾けない大人
3. 子どもの成長上の手本となる「成長モデル」としての役割責任を放棄し、「反面教師」に徹する大人
4. 文明の進歩に伴い、大人の依存心の肥大と耐性の欠如が進んでいる、という指摘に向き合わない大人
5. 食材偽装やデータ改ざん、不正会計など、絶対に守るべき職業倫理をいとも簡単に破ってしまう大人
6. 我関せずの対人作法で、あいさつも、返事も、あいづちも、礼も、詫びも、労いも、連絡もしない大人
7. 大人の愚かさや浅ましき、失態を、子どもの愚かさや浅ましき、失態を、さと未熟さにたとえる大人
8. 子どもの幅広い心の育ちの実態をつぶさに視ず、十把一絡げのような「子ども理解」をする大人
9. 優劣を比較できない「人」と「人」を安易に比べてはつまらぬレッテルを貼り付け、自己満足にひたる大人
10. 「相手が悪い。」と人の所為にするばかりで、「相手に悪い。」という思いやりやいたわりのない大人
11. 「いじめ」は絶対に許されない人権侵害行為(差別)であり、犯罪であることを子どもにも教えない大人
12. 福祉感覚やバリアフリー精神が貧しく、歩行障害等の方のための駐車スペースに平然と駐停車する大人
13. 話が終わるやいなや、受話器を叩きつけるように置き、折角の話の余韻を一瞬でかき消す大人
14. 親とは、子育てという大変な営みを通して、さらに成長し続ける大人である、という自覚のない親
15. 衣食住や安全、愛情、承認など、我が子の「人間としての基本的な欲求」の充足に努めない親
16. 子育ての大切なパートナーである教師や保育士、厚生員との信頼に基づく連携を図ろうとしない親
17. 言行不一致で、子どもに言っていることと、普段の言動や態度、生き方が極端にかけ離れている親
18. 親と子の関係において起こるべきことを、学校や保育園、児童館に依存してはばからない親
19. 相反する価値観とおびただしい情報の渦中で、「親としての自分」の主体性を見出そうとしない親
20. 各成長期の特徴や課題に無関心で、特に思春期にある児童・生徒の心理を理解しようとしなない親